

鹿町地区医療機関等連絡先一覧表

保存版

医療機関

名称	住所	電話番号
うらべ内科・胃腸科医院	鹿町町深江潟96-1	73-1181
鹿町診療所	鹿町町深江326	65-2235
しかまち心療内科	鹿町町上歌ヶ浦446-1	77-5656
棚橋歯科	鹿町町新深江18	66-2566
鹿町歯科診療所	鹿町町下歌ヶ浦527-31	77-4011

福祉施設

名称	住所	電話番号
合同会社光グループホーム 輝	鹿町町土肥ノ浦21-7	73-1010
グループホーム うたし	鹿町町下歌ヶ浦986-38	77-4056
グループホーム 九十九の里	鹿町町下歌ヶ浦802-8	73-2555
一般社団法人花央 サービス付高齢者向け住宅施設 うえんの	鹿町町上歌ヶ浦441	77-5566
ケアハウス かしの木	鹿町町下歌ヶ浦109-2	73-2006
養護老人ホーム しかまち	鹿町町下歌ヶ浦109-7	73-2500
老人保健施設 つつじの郷	鹿町町下歌ヶ浦109-1	73-2004
佐世保市社会福祉協議会鹿町介護事業所	鹿町町深江550-3	66-3077
鹿町ひかりステーション	鹿町町下歌ヶ浦989-7	77-5545
NPO法人はるかぜ多機能型就労継続支援 A・B型事業所 大地の恵	鹿町町深江310-16	65-3575

幼稚園・保育園

名称	住所	電話番号
認定こども園 御堂青い実幼児園	鹿町町土肥ノ浦87-1	65-3311
認定こども園 歌ヶ浦青い実幼児園	鹿町町下歌ヶ浦984-1	77-5666
しとね保育所	鹿町町長串1089-7	77-4164

※順不同で掲載しております。

鹿町地区地域福祉活動計画

笑顔あふれる ふるさと鹿町



鹿町地区福祉推進協議会
佐世保市・佐世保市社会福祉協議会

発行 平成25年3月
企画・編集 佐世保市保健福祉部保健福祉政策課 TEL0956-24-1111
デザイン・印刷 佐世保市社会福祉協議会 TEL0956-23-3174
文巧社印刷

【1】鹿町地区ってこんなまちです

(鹿町地区の紹介)

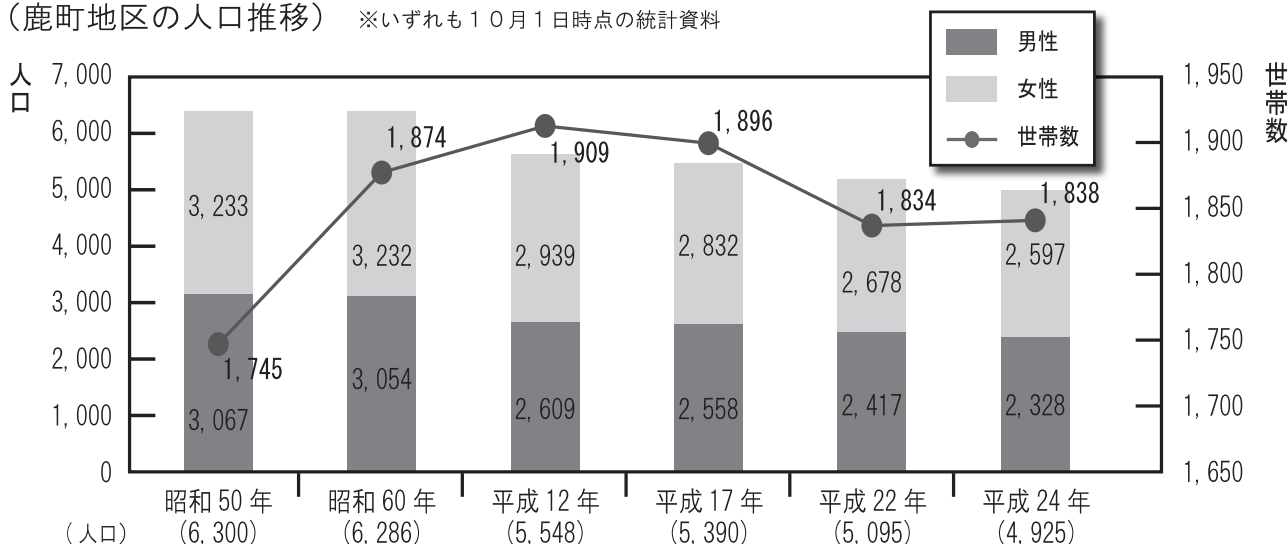
平成22年3月31日、佐世保市へ編入合併した鹿町地区は、長崎県本土地域の最北部、北松浦半島の北西部を町域とし、佐世保市市街地から北西へ約20kmの場所に位置しており、町域南西部から北部にかけて海に面しています。

沖合いには北九十九島と呼ばれる多数の島が点在し、北部は半島に切り込んだ湾（江迎湾）に接しています。

北松浦半島では半島内の各地域で石炭を産出し、北松炭田として栄えました。そのためかつては町内にも数ヶ所の炭鉱がありましたが、1960年代にすべて閉山しました。現在は漁業と農業が中心となっています。



(鹿町地区の人口推移) ※いずれも10月1日時点の統計資料



(鹿町地区 “わがまち自慢”)

“自慢” がいっぱい！の鹿町その一部を紹介します。

長串山

西海国立公園の一角の標高234mの長串山には、平戸つつじや久留米つつじを中心に約10万本のつつじが植えられ、例年4月中旬から5月初旬頃（ゴールデンウィーク後半）まで鮮やかなつつじの開花を見ることができます。



海洋スポーツ基地

「海と島の自然体験館」は、海洋レジャーの拠点施設としてシーカヤック体験、自然体験プログラム、海辺でのキャンプ、夏期の海水浴場、研修会場として幅広く利用できます。北九十九島シーカヤックツーリングや無人島に上陸して自然観察するなど体験メニューもいっぱいです。

しかまち観光夏祭り

鹿町支所前の駐車場周辺で行われる夏祭りです。祭りに彩りを添えるのが打ち上げ花火で、特に海を利用した水中花火には、毎年感動と歓喜の声があがります。



ふぐの養殖

鹿町町の沿岸で大切に育てられているとらふぐは、10月から2月にかけて旬を迎えます。その季節になると、鹿町町内の食事どころでは、てっさ（刺身）やてっちりなどの新鮮なとらふぐ料理が食べられます。



鹿町温泉やすらぎ館

平成7年、県立鹿町工業高校の建て替え工事中に天然温泉が湧出しました。泉質はナトリウム炭酸水素塩泉です。とろみがある手触りで、肌の脂肪分や分泌物をよく落とすことから、「美人の湯」とも呼ばれていま



大野台支石墓群

国指定史跡であり、縄文時代から弥生時代にかけての日本最大級の支石墓群で、さまざまな埋蔵品も確認されました。

歴史民俗資料室には、遺跡資料や民俗資料など7,000点が展示されており、貴重な文化財を一般公開しています。

【2】鹿町地区を支える団体（順不同）

鹿町地区町内連合会

鹿町地区町内連合会は、16地区の地区長で構成し、地区内全般の円滑な運営及び発展に寄与することを目的に相互の連絡、調整、協力及び親睦を図っています。

また、各地区が抱える諸問題を協議するほか、行政との連絡調整を行い、地区内の振興に努めています。

深江地区、山手浦地区、御堂地区、口ノ里地区、北鹿町地区、南鹿町地区、船ノ村地区、大屋地区、歌ヶ浦地区、加勢地区、大加勢地区、曾辺ヶ崎地区、平原地区、木場地区、長串地区、褥崎地区



鹿町地区民生委員児童委員協議会

鹿町地区民生委員児童委員協議会は、民生委員児童委員14名、主任児童委員2名で構成されており、毎月定例会を開催し、地域住民の問題把握と解決のために話し合いを行っています。また、高齢者の安否確認や、登下校時の児童への声かけ運動、各団体が行う活動にも積極的に参加・協力しています。

鹿町地区老人クラブ連合会

町内の8つの単位老人クラブからなり、会員数は約430名です。グラウンドゴルフ大会など年間行事計画に基づいて各行事に取り組んでおり、会員の親睦と健康維持を基本としながら、子どもたちの登下校時の見守り活動や、その他の学校支援活動、清掃活動などの地域貢献も積極的に行っています。



鹿町地区生涯学習推進会

生涯学習社会にふさわしい学習の基盤を整え、鹿町の特性を活かした魅力的で活力あるまちづくりを進めています。

また、地域の人たちの交流や、学習の場として、文化祭など文化的な活動や、生涯スポーツフェスタなどの体育・レクリエーション活動、まちづくりやふるさとづくりなどの活動を行っています。

鹿町地区3校PTA連絡協議会

鹿町地区は2小学校と1中学校の校区です。保護者と教師が一体となり、児童生徒の豊かな成長を願って共に考え、協力しながら笑顔あふれる学校を支えています。また、登下校時の見守りやPTA新聞の発行など、地域と学校の連絡役としても活動しています。



鹿町生活学校

みんなで力を合わせて住みよい地域をつくりたい。少しでも暮らしを良くしたいと願う女性の集まりです。

生活に直接関わっている女性の手によって、身近な暮らしの中の生活課題・地域課題を把握し、行政など関係者と協力しながら、実践活動によって課題解決に向けた運動をしています。



鹿町町商工振興会

本会は、昭和30年に現組織となって以降、会員相互の連絡と親睦、商工業振興のための研修、事業などを行っております。現在は会員総数105名で構成されており、長串山つつじまつり、させば鹿町町パールマラソン大会、しかまち観光夏まつりなどのイベント協力、街路灯維持管理など地域活性化のため積極的に行っております。

鹿町の海と山交流会

本会は、佐世保市との合併により鹿町町観光協会を「鹿町の海と山交流会」と改名し、その事業を継承しています。

運営は、本会の趣旨に賛同する会員を募りその会費で事業を推進しています。主な事業は、毎年8月13日に実施している「しかまち観光夏まつり」です。

この事業には、町内各種団体はもとより、特に九十九島漁協青年部会、鹿町町商工振興会の青年部会が大きな支えとなっています。近年は、ステージイベントの充実を図り、約800発の花火で近隣市町の地域住民の真夏の夜の憩いの場となっています。



鹿町・小佐々体験振興会

高齢化や人口減少が進む「ふるさと鹿町」を「なんとかせんば」と平成17年（2005年）12月、地域活性化を目的として有志で立ち上げました。

現在では、鹿町、小佐々、江迎3地区で80名の会員で構成され、鹿町には約50名の会員がいます。平成24年は約5,000人の修学旅行の子どもたちを受け入れて、農業、漁業、炭焼きなどの体験学習をしています。中でも、民泊先での家庭の味を家族とともに作り食す味覚体験は、子ども達の大きな思い出になっているようです。宿泊体験が主であるが日帰り体験もあり、子ども達との触れあいで勉強させられることも多いです。



【3】鹿町地区福祉推進協議会の紹介

どのような団体？

鹿町地区福祉推進協議会（略称：福推協）は、地域住民の身近な困りごとをはじめ様々な情報を把握し、その解決に向けた活動などに地域の多くの団体や住民が連携して取り組み、安心して暮らすことができる地域づくりを進めるという大きな役割を担う組織です。

鹿町地区福推協は、平成23年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒に様々な活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、生活学校、施設関係、行政など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

福推協では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

定例会の開催

鹿町地区の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いを、一人ひとりがアンテナ役となり、年3回程度開催しています。

広報誌の発行

地域住民の福祉意識の向上と福祉活動への参加促進、福推協活動のPRなどのために、「福推協だより」を年2回程度発行しています。

交通安全帽子の贈呈

鹿町・歌浦小学校の新入学児童全員に、毎日の登下校時の安全を願い、毎年黄色い帽子を贈呈しています。

ベンチの寄贈

毎年、依頼があった地区へベンチを寄贈しています。住民の皆さんに安心して利用していただきたいと思います。

街路灯の設置

地域の皆さま方が安全で安心して暗い道も通行できるよう、また、防犯の意味でも効果がある街路灯を設置しています。

老人クラブへの助成

高齢者の活動支援の一環として、老人クラブが開催している旧北松南部5カ町交流グラウンドゴルフ大会を支援し、交流と親睦を深めました。

これからも、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことで、さらに充実した活動になればと願います。地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。

【4】鹿町地区「地域福祉 “お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”って何？

もっと住みやすい鹿町にするために、地域の人々がいろいろなことを話し合ったのが、“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、一緒にまちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

お茶の間トーク

テーマ：「地域のことを見つめなおそう！」

～みんなに出来ることを探そう！～

日 程：平成24年12月9日（日）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは鹿町地区にちなんだクイズをグループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う鹿町地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加された皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見したりと、いい機会になったようです。

※下のようなことが多く出されました。



【よかところ】

○長串山山頂からの景色

○犯罪・災害が少ないまち

○魚がおいしい

【気になるところ】

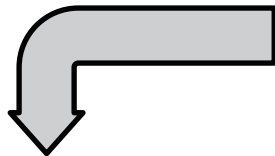
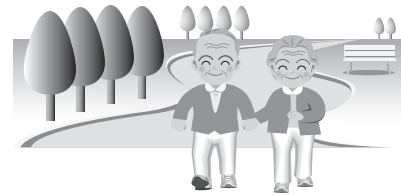
○空き家、空き店舗が多い

○高齢者の買い物が不便

○子どもたちの登下校が心配

【5】鹿町地区で取り組む課題と将来の姿

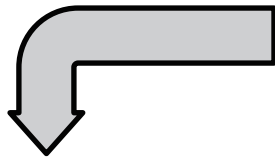
①生活しやすい 環境づくり



- ◆商店が少なくなり、町内での買い物客も減少しており、公共交通機関も不便なため高齢者の買い物が困難となっている。
- ◆イノシシが多く民家におりてきている。
- ◆釣り人のゴミ出しのマナーが守られていない。

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
ご近所同士、誘い合って 地元で買い物ができ、楽しめるまち	関係団体の協力を得て、町内の商店における配達サービスなどの実態を把握する。	配達サービスマップ（買い物マップ）を作成し住民に周知する。	ご用ききボランティアの育成を検討し、町内商店での買い物を推進する。
イノシシ被害が少なく、 一年通して美味しい農産物がとれるまち	イノシシが多く出没するところなどの実態を把握する。	道路沿いや民家周辺の草を切り、イノシシの隠れ家をなくす。（特に空き家周辺の環境整備については、防犯・防災にも繋がる。）	
きれいな海を汚さない。 美味しい魚がとれるまち	市の環境部などの協力を得て、講習会を実施する。	保健環境連合会の協力を得て、看板を設置する。	広報誌などを活用し、ゴミを持ち帰るなど環境問題に関する意識づくりを行う。

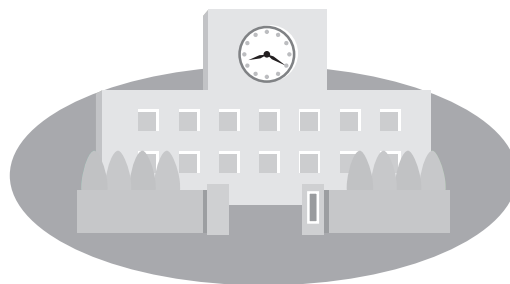
②人と人との ネットワークづくり



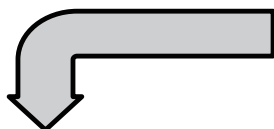
- ◆一人暮らし、高齢者世帯が増えており、孤独死や火事が発生した場合に心配。
- ◆母子家庭が多くなってきており心配。

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
ふれあいの場があり、ご近所同士が笑顔で声を掛け合い、支え合い、孤独死・孤立死“0”（ゼロ）のまち	各地区並びに各団体へ、見守りなどについて説明する。 講演会などの実施を検討する。	民生委員児童委員などの協力を得て、食事会やサロン活動などの新規開設及び継続に努める。	保育園の協力を得て、世代間交流を含めたサロン活動などを視野に入れ、居場所づくりに努める。
気軽に相談ができる場所があり、子ども達が伸び伸びと元気に育つまち	民生委員児童委員、主任児童委員、地区長の協力を得て、実態把握を行う。	民生委員児童委員をはじめ各種相談員並びに相談所のPR及び広報啓発に努める。	地区内における相談連携システムなどの整備及び強化を図る。

③安全で安心な町づくり

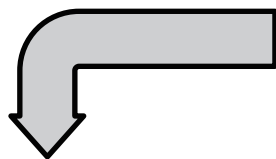


- ◆街路灯が少なく子ども達の登下校が心配。
- ◆美しい自然は多いが、海や山の手入れが不十分であり子どもたちが遊べない。



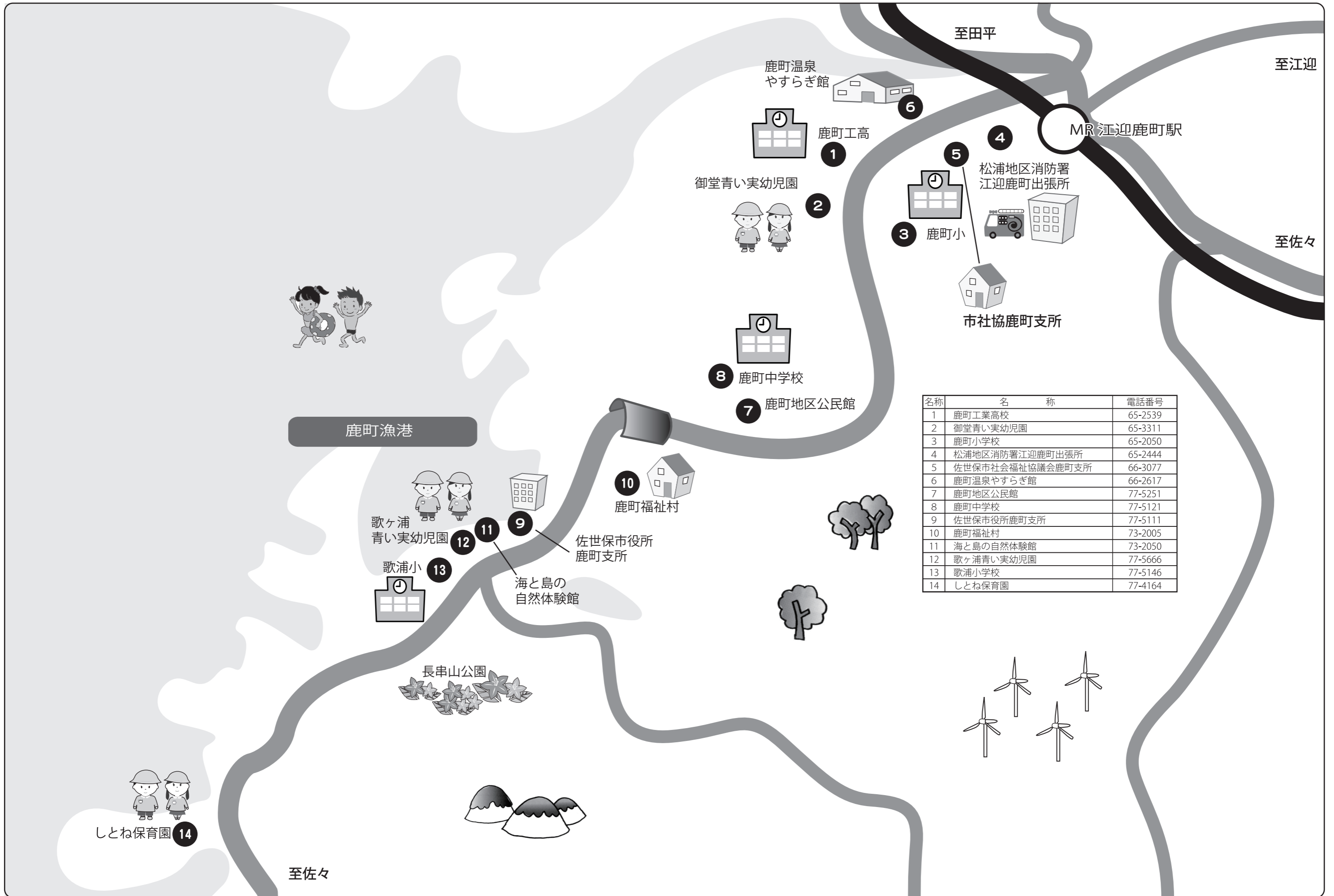
5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
地域での見守りが強化され、子ども達が安心・安全で学校に楽しくいけるまち	民生委員児童委員、PTA、育成会などの協力を得て、モデル地区を選定し、実態調査を行う。	民生委員児童委員、PTA、育成会などの協力を得て、モデル地区の通学路マップを作成する。	モデル地区を検証し、全地区の通学路マップの作成並びに世帯配布により、登下校時の安全管理を
美しい自然の中で、子ども達が元気にたくましく遊べ、賑わいのあるまち	各団体の協力を得て、山林、海などボランティアを募り整備を行う。	学校、PTA、老人会などの協力を得て、昔遊びや自然の中での体験学習などの企画や場の提供に努める。	

④みんなが集まる 場所づくり



- ◆隣近所との交流が疎遠になりがちであり、地域での触れ合う機会が少ない。
- ◆世代を超えて一緒に楽しめる行事が少なく、また、若い世代の地域活動や地域行事への参加が少ない。
- ◆みんなが参加できる地域の公民館活動が少ない。

5年後のまちの姿 【目標】	事業・取り組み		
	ステップ1	ステップ2	ステップ3
顔があったら笑顔で挨拶。「あいさつプラス1運動」のまち	学校の協力を得て、鹿町地区の「標語」などを募集する。	家庭、学校、地域において、あいさつ運動を推進する。	民生委員児童委員などの協力を得て、ネットワークなどの見守り活動の強化と推進を図る。
少子高齢化が進む中、若い世代の考えを取り入れたイベントで地域の若返りを図り、世代を超えて心と心のふれあいができるまち	各団体の協力を得て、実施プログラムの調査と検討に努める。	スポーツ振興課、学校、各団体の協力を得て、ニュースポーツなどの世代を超えた交流の場づくりに努める。	
地区の拠点となる公民館での活動が充実し、活気あふれるまち	公民館長などの協力を得て、実態把握を行う。	広報誌などによる公民館活動のPR及び広報啓発を行い、実態調査を踏まえて、年間を通じて誰もが参加できる行事の企画を行う。（地産を使った郷土料理など）	



名称	名 称	電話番号
1	鹿町工業高校	65-2539
2	御堂青い実幼稚園	65-3311
3	鹿町小学校	65-2050
4	松浦地区消防署江迎鹿町出張所	65-2444
5	佐世保市社会福祉協議会鹿町支所	66-3077
6	鹿町温泉やすらぎ館	66-2617
7	鹿町地区公民館	77-5251
8	鹿町中学校	77-5121
9	佐世保市役所鹿町支所	77-5111
10	鹿町福祉村	73-2005
11	海と島の自然体験館	73-2050
12	歌ヶ浦青い実幼稚園	77-5666
13	歌浦小学校	77-5146
14	しとね保育園	77-4164

【6】鹿町地区地域福祉活動計画策定委員会

鹿町地区の地域福祉活動計画を策定するにあたり、鹿町地区福祉推進協議会の構成員を中心とした「策定委員会」をつくり、「地域福祉“お茶の間トーク”」で出された意見の整理や計画の原稿作成などを行いました。



鹿町を想い、鹿町のために考えました！
ぜひ、読んで、一緒に参加してください！

(策定委員)

山本 幸男	松本 重夫	吉浦 豊	吉浦 俊行	小村 省二
久保田 公司	前田 勝弥	山之内 圭吾	新立 和美	石田 光洋
熊谷 厚生	前田 美枝子	諸藤 キヌ子	西村 トシ子	
日高 しおり				(順不同)

鹿町地区福祉推進協議会 会長 山本 幸男
(鹿町地区地域福祉活動計画策定委員長)

この度、鹿町地区福祉推進協議会では、佐世保市及び佐世保市社会福祉協議会のご協力のもと、鹿町地区地域福祉活動計画を策定いたしました。

本町では、高齢化率が30パーセントを超え、高齢者人口は推計で平成25年1,594人、平成26年では1,635人とされています。

公共交通機関の利便性の低下や商店の廃業等々と厳しい環境にあるこの地域では、高齢者の生活は現在より益々困窮の時を迎えることは必至であります。

私たち本会の委員一人ひとり、本誌に寄せられました課題に研鑽を重ね「安全・安心な町づくり」に他の関係団体と問題を共有して邁進してまいります。

皆さまにはこれまで以上の本会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【7】ごあいさつ

佐世保市長 朝長 則男

これからの社会においては、私たち行政サービスに加えて、住み慣れた地域の中で市民一人ひとりが互いに支え合う「地域福祉」を進めることが大切です。

この地域福祉活動計画は、それぞれの実情に合った地域福祉を進めるために、地域の皆さんが主体となって策定されたものです。その内容には、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”」などを通じた、地域の皆さんの意見が色濃く反映されています。

この冊子を通じて、ご自分が住んでいる地域についての理解をさらに深め、今後取り組むべき内容を共有していただくことで、より良い地域づくりが進んでいくことを期待しております。

行政としましても、地域の皆さんによる取り組みへのサポートを行いながら、地域の皆さんと一体となって地域福祉の実現に努めてまいります。

終わりに、この計画を策定するにあたりご協力いただきました福祉推進協議会をはじめ関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

佐世保市社会福祉協議会 会長 中山 恒夫

この度、ここ鹿町地区において、鹿町地区地域福祉活動計画『笑顔あふれるふるさと鹿町』が策定されましたことに、心からお慶び申し上げます。

この計画は、住民座談会「地域福祉“お茶の間トーク”」で自分たちの住んでいる地域の「よかところ」「気になるところ」を話し合い、そこで出された地域の様々な生活課題を解決するために考えていただきました。地域のみんなで、また一人ひとりにできる具体的な取り組みに加え、まちの歴史や自慢など地域性豊かな内容となっています。

私たち佐世保市社会福祉協議会にとっても大変意義のある計画であり、地域の中で支え合い、安心して暮らせるまちづくりに向けた皆さんの活動を支援させていただくと共に、地域福祉推進の担い手である社会福祉協議会の役割を果たすべく、職員自らも皆さんと一緒に取り組んでまいります。

最後になりましたが、計画策定にあたりまして、多大なご尽力をいただきました鹿町地区福祉推進協議会をはじめ、地域の皆さまに対しまして、厚くお礼を申し上げます。